

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
ランキュラス	2人	ランキュラス	a 10	1. ランキュラス10a経営 2. 連棟補強型ハウス、5℃保温栽培 3. 球根は2年使用 4. 出荷は京阪神市場	
		耕地面積	水田 畑	100 a	
経営目標	1 農業総収入	6,370	千円	4 1日当たり農業所得	10,073 円
	2 農業経営費	4,528	千円	5 1人当たり年間労働時間	732 時間
	3 農業所得	1,842	千円		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所 割	有 合	取得価格	耐用 年数	年 間 償 却 額
建物・施設	作業場・倉庫	1	鉄骨・100㎡	1	1	千円 9,451	年 24	千円 394
	連棟補強Ⅱ型	1	連棟補強Ⅱ型・1,000㎡	1	1	14,556	14	520
	計					24,007		914
農機具	軽トラック	1	660cc	1	1	1,324	4	166
	トラクター	1	20ps	1	1	1,855	7	132
	管理機	1	6.2ps	1	1	278	7	20
	土壤消毒機	1	歩行型(管理機付)	1	1	125	7	9
	動力噴霧機	1	3ps	1	1	184	7	13
	冷蔵庫	1	3坪	1	1	960	7	69
	温風暖房機	1	75,000kcal	1	1	1,444	7	103
	循環扇	6	10aに6台導入	1	1	207	7	15
	養液土耕システム	1	コンピューター制御	1	1	1,520	7	109
	頭上灌水装置	1		1	1	1,064	7	76
	計					8,959		711

3. 技術体系

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
球根処理・冷蔵・コンテナ入れ替え		8月下～9月下	冷蔵庫	2	17.5	35	パーライト 不織布	浸水後、冷蔵処理行う。
定植準備	土壌消毒 耕うん 整地畝立 ネット張り	9月中～	トラクタ 土壌消毒機 管理機 頭上灌水装置	2	16	32	堆肥2t 苦土石灰 100kg 支柱	窒素15kg、リン酸20kg、加里15kg 定植後5日程度寒冷しゃを張る。 定植後十分に灌水を行う。
定植		10月上	頭上灌水装置	2	10	20		畝幅135cm、株間20cm× 条間40cm 2条植え 7,000球/10a
施肥灌水		10月上～ 3月下	養液土耕システム	1	54	54	点滴チューブ	生育に応じ施用 窒素15kg、リン酸15kg、加里15kg
病虫害防除		〃	動力噴霧機	1	72	72		
ハウス温度管理		10月上～ 3月下	温風暖房機 循環扇	1	54	54		日中は15℃で換気、最低 夜温5℃で保温する。
収穫出荷		11月中～ 3月下	冷蔵庫 軽トラック	2	470	1020		早切りしない、採花後すぐ 水に浸ける。
球根堀上・乾燥		5月中		2	72	144		球根は水洗い後、十分に 乾燥させる。
本圃後片付け		5月下	軽トラック	2	16	32		
計						1,463		

